本校授業のＵＤ（ユニバーサルデザイン）化～「わかる・できる」を保障するために～

豊後高田市立真玉小学校

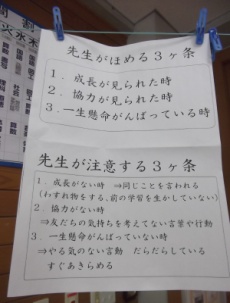
指導方法の工夫・・・やってきたことを意識的に！　やってなかったことを意欲的に！

Ⅰ　参加（活動）しやすく

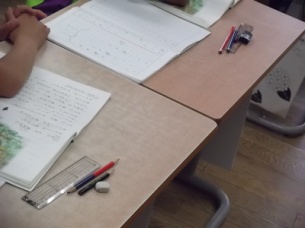
前面掲示は必要最小限に（全学年）

①ルールの明確化　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②刺激量の調整

机の上に出すものが決まっています（2年）

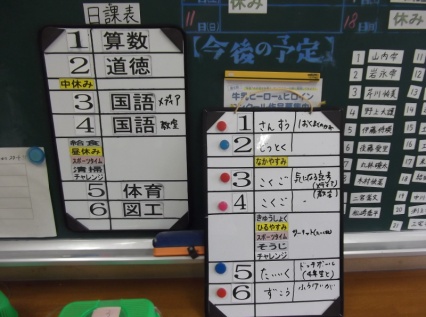


担任の指導方針が明確なので安心が生まれます（5年）





　　③場の構造化　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④時間の構造化



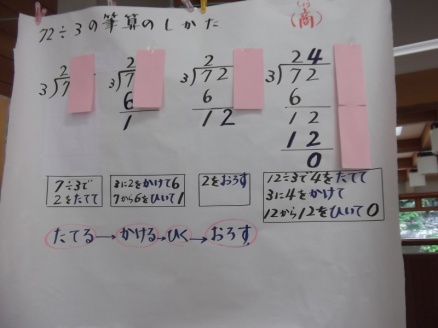
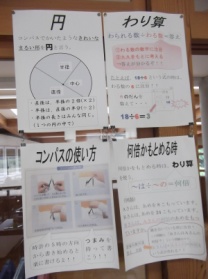
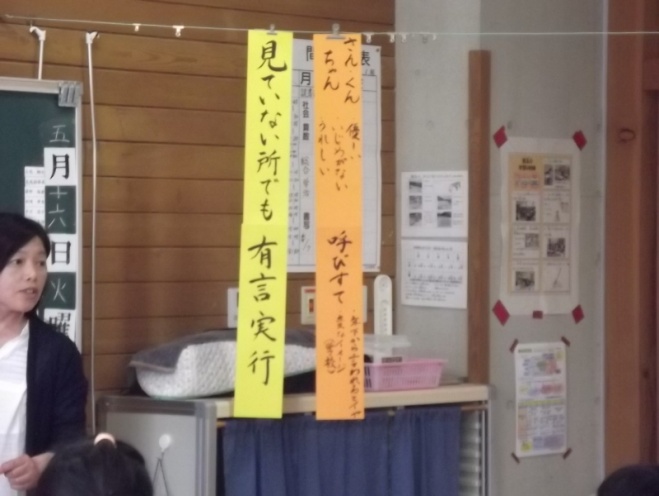
活動の見通しが立ちます（全学年）

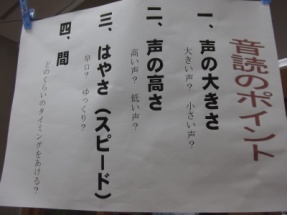


行動しやすく使いやすいと，学習効率があがります。（１年・３年）

Ⅱ　理解（わかる）しやすく

①視覚化（見える化）



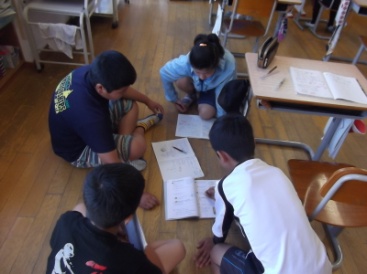


めざす姿が明確です（5年・6年）

学びをいつでも振り返れます（3年・4年）

③共有化（ペア学習・グループ学習）

　　②感覚の活用（例：動作化）　　　　　　　　　　　　＊ 本校では学び合い①，学び合い②のこと



「前から3番目」を動作化でわかりやすく（1年）